

＜専門委員会＞

【基本方針】

SAJの動向を把握しながら、正確な情報を適宜北海道スキー連盟教育本部に提供していく。指導者研修会については、参加者にとって魅力ある研修会とするために、実技担当講師の発信力と師範力の向上が求められることから、実技担当講師への情報提供に努める。なお、研修課題に関する刊行物「SAJ 教育本部研修課題ハンドブック 2023」、理論研修に関するeラーニング「2023年度指導者研修会理論講習eラーニング」、「2023年度公認検定員クリニック理論eラーニング」は、2024年度も引き続き使用することとなっている。今年度実技研修受講者は受講までに必ず理論研修のeラーニングを視聴することとなっているが、実技研修の中でも理論研修の内容がより深化できるようカリキュラムの工夫を図るとともに指導者としての資格価値や資質を高めるために、単位の厳格化を進める。また、検定員クリニックについては、これまで全体デモンストレーションおよび実技研修会の中で取り扱うこととしてきたが、2024年度は、検定員クリニック開催基準要項に則り、研修会とは別枠で実施することとする。これにより、検定員クリニックの内容についても充実したカリキュラムの構築を図る。

専門委員は多くの事業において主任講師や主任検定員をはじめ、現場で責任ある立場となるが、事業成功に向けて邁進することはもとより、次の連盟を担う人材の育成にも配慮しなければならない。そのためには、各事業でのかかわりの中でどの役職であれ、携わる全員が力を合わせて事業推進できる環境を作るとともに、みんなで達成感、成就感を共有できるよう配慮することが重要である。専門委員としての専門性が重要なのは言うまでもないが、俯瞰的な視点を持つこともまた重要と考える。最後に、SAJ専門委員としての自覚と責任を持ち、それぞれのカテゴリーに属する技術に対する専門性を発揮するとともに、「第61回全日本スキー技術選手権大会」、「第8回全日本ジュニアスキー技術選手権大会」をはじめとする全日本スキー連盟教育本部事業、そして北海道スキー連盟教育本部事業の成功とさらなる充実に貢献して行きたい。

[任務]

1. 全日本スキー連盟に関する情報の収集及び伝達 に関すること。
 - (1) SAJ 各種会議等の報告・伝達。
 - (2) SAJ の動向に関する報告・伝達。
2. 指導者研修課題(テーマ)に関すること。
 - (1) SAJ 指導者研修課題(テーマ)の伝達。
3. 各種研修会・講習会に関すること。
 - (1) 北海道ブロック研修会の全体日程、理論・実 技研修の企画立案と運営。
 - (2) 夏季研修会の全体日程と研修内容の企画立案。

- (3) 指導者研修会(実技)および公認検定員クリニック(実技)の企画立案と運営。
 - (4) 地区連養成担当者講習会の研修内容の企画立案と運営。
 - (5) 技術員、準指導員検定会等検定員の強化
 - (6) その他各部からの要請対応。
4. デモンストレーターに関すること。
 - (1) デモンストレーターの育成・派遣。
 5. その他
 - (1) スノースポーツの活性化。
 - (2) 技術・指導法等の調査研究並びに提案。
 - (3) その他、専門的な事項。
 - (4) 中央研修会開催地区としての協力
 - (5) 全日本スキー技術選手権大会および全日本ジュニアスキー技術選手権大会の事業成功を目指す。

＜企画部＞

【基本方針】

教育本部規定及び内規に示す事項を所管するとともに、会議の開催などの各事業を遂行する。また、道連教育本部事業の円滑な運営と各部間の連絡調整を図るとともに、事業予算の適正な執行と経理事務の万全に努める。

さらに、広報活動を通じて、各種行事の情報を会員に周知するとともに、スノースポーツの振興に貢献する。

【任務】

1. 各部の事業計画と予算を集約、教育本部の年間事業計画の作成及び整理。
2. 教育本部メモの編集。
3. 教育本部研修会の円滑な運営。
4. 教育本部理事会、合同会議、統括部長会議の準備。
5. 有資格者登録の実施、会員の把握。
6. スノースポーツ振興のための広報活動の展開。
7. 道連事務局との連携による、SAJ 報告等の円滑な処理。
8. 会計報告、事業報告等の精査の徹底と事業会計の適切な執行。
9. 教育本部理事会に係わる事務処理。
10. 企画部事業計画、予算案の立案と活動報告の作成。
11. 教育本部内規の整理。

【活動内容】

1. 教育本部所管の事業計画及び予算作成に関すること。
2. 年次登録業務に関すること。
3. 教育本部の会議及び各部・各委員会の連絡調整に関すること。
4. 教育本部担当理事会に関わる庶務事項の処理に関すること。
5. 業務報告書の作成に関すること。
6. SAJ からの通知等の処理に関すること。
7. SAJ への報告等の処理に関すること。
8. 他の事項に属さない庶務に関すること。
9. 教育本部所管の予算執行に関すること。
10. 教育本部予算・決算の資料収集及び原案の作成に関すること。
11. 支出伺いの点検及び適正な予算執行に関すること。
12. 教育本部所属会員の管理登録に関すること。
13. 教育本部諸事業の IT 関連作業(支援も含む)に関すること。
14. その他、教育本部データ、予算に関すること。
15. 事業実施要領の編集とホームページ掲載に関すること。
16. 教育本部情報の告知及び広報活動に関すること。

＜研修部＞

【基本方針】

教育本部会議・研修会(冬季・夏季)と一般指導者研修会の事業計画の策定及び企画・運営を行う。また、指導者に教育本部の研修課題を周知すると共に、公認検定員が検定に関する専門的な評価能力の向上を目指す。

【任務】

1. 教育本部会議・研修会(冬季・夏季)の準備・運営
 - (2) 参加者のとりまとめ
 - (3) 教育本部会議の企画・進行
 - (4) 雪上研修会の運営
2. 一般指導者研修会・公認検定員クリニックの運営
 - (1) 参加者のとりまとめ
 - (2) 総務主任へ参加者データの提供
 - (3) シクミネットへの研修終了結果の投入
 - (4) 各地区ブロックと次年度研修会場の調整

【活動内容】

1. 教育本部会議・研修会(冬季・夏季)

2. 一般指導者研修会・公認検定員クリニック
 - (1) 理論:e ラーニングで実施
 - (2) 実技:16 会場で実施
3. 特別オプション研修会
 - (1) SAH 登録スキー学校教師研修会
 - * スキー学校部所管事業
 - (2) SAH スキー大学
 - * 強化部所管事業

＜検定部＞

【基本方針】

SAJ 公認スキー指導員・SAJ 公認スキー準指導員・SAH 認定スキー指導員を育成強化することによりスキー人口の拡大を目指す。また、スキー指導と評価の一体化を図るため SAJ 公認スキー検定員の育成強化を目指す。

各加盟団体・スキー学校と連携しスキーヤーの指導者検定への意欲醸成を行うとともに、SAJ 指導者検定規程・SAJ 検定員規程に基づいた検定会の企画・運営・登録を実施する。

【任務】

1. SAJ 公認スキー準指導者検定 イベント登録・受付・集計・合格者登録及び検定会運営
2. SAH 認定スキー指導者検定 受付・集計・合格者登録及び検定会運営
3. SAJ 公認スキー検定員検定 イベント登録・受付・集計・合格者登録及び検定会運営
4. SAJ 公認スキー準指導員検定会検定員及び地区連養成担当者強化講習会 受付・講習会運営
5. SAJ 公認スキー指導員検定養成講習会(中央会場) 受付・講習会運営

【活動内容】

各検定会講習会の申込はシクミネット・デジエントリーでの申込み受付で実施し合格等の手続きも同様とする。(一部に用紙での手続きあり)

1. SAJ 公認スキー準指導員検定会(南会場・北会場)
 - (1) 検定会内容の周知及び受検者募集(地区連教育担当者と連携)
 - (2) 受検申込者の申込整理及び受検者への受検手順案内
 - (3) 検定会の開催及び運営

- (4) 合格者の登録作業及び合格者養成講習会・C級検定会の受付から運営
- 2. SAH認定スキー指導者検定会
 - (1) 検定会内容の周知及び受検者募集(地区連教育担当者・スキー学校担当者と連携)
 - (2) 受検申込者の申込整理及び受検者への受検手順案内
 - (3) 検定会の開催及び運営
 - (4) 合格者の登録作業(地区連教育担当者・スキー学校担当者と連携)
- 3. BC級検定員検定会
 - (1) 検定会内容の周知及び受検者募集(地区連教育担当者と連携)
 - (2) 受検申込者の申込整理及び受検者への受検手順案内
 - (3) 検定会の開催及び運営
 - (4) 合格者の登録作業
- 4. SAJ公認スキー準指導員検定会検定員及び地区連養成担当者強化講習会
 - (1) 講習会内容の周知及び受講者募集(地区連教育担当者と連携)
 - (2) 講習申込者の受付申込整理
 - (3) 講習会の開催及び運営
 - (4) 受講完了者の地区連周知
- 5. SAJ公認スキー指導員検定養成講習会(中央会場)
 - (1) 講習希望者の受付申込整理
 - (2) 講習会の開催及び運営
 - (3) 受講完了者の地区連周知

＜強化部＞

【基本方針】

全日本スキー技術選手権大会における男子総合優勝連覇に加えアベック優勝を最大目標とし、スーパーファイナル進出者及びナショナルデモンストレーター認定者の増加を目指す。その為に2021年度においても、より効率的で効果的な育成強化に取り組む。キャリアの対応力、若手の勢い、新戦力の可能性に的確なコーチングを加えたチームシナジーにより昨年以上に強固なチーム力の向上に努める。

近年、北海道選手は若年化が進み選手層がより一層厚みを増している。一方で経験不足による状況対応力の低さも否めないことから、ジュニア育成内容の見直しを図り計画的強化を推進する。

また各種大会や事業を通して時代背景にマッチした運営を思案し、スピード感をもって実行に移していくことでスキー発展に貢献していきたいと考えている。

【任務】

1. 選手育成強化
 - (1) 全日本スキー技術選手権大会及びナショナルデモンストレーター選考会において、優秀な成績を収めることができるように、強化指定選手を計画的に強化する。
 - (2) 強化指定選手の意識改革を図り、進化する技術への対応能力を高める。
 - (3) スキー技術の研鑽と同時に、社会人としての豊かな人間性の向上を目指し、指導者として模範と成り得る人材の育成に努める。
2. ジュニアの育成強化
 - (1) 将来を見据え、技術選・デモンストレーターを目指すジュニア層の計画的な育成強化に努める。
 - (2) 事業を通じてデモンストレーターとの接触機会を築き、夢や希望を与えることにより、スノースポーツ・技術選への誘導、ジュニア大会の更なる活性化を図る。
 - (3) 競技本部との連携を推進し、若年層を絶えず拡充するため積極的な働きかけを行なう。
3. 革新的技術のリーダーシップ
 - (1) アルペントップレーサーの技術とトップデモとの技術の融合化について継続して追求・分析を行なう。
 - (2) 発展するスキー技術の研究・理論構築を行なうほか、育成強化に対する課題・方向性の共有化に努める。
 - (3) ジャッジングの正当性を追求するため評価基準を明確に定め、検証された情報の発信を行なう。

＜振興部＞

【基本方針】

キッズ、ジュニアからシニアまでの男女を含めた幅広い年齢層を対象とした事業活動を通して、北海道におけるスキー活動の普及発展に努める。

【任務】

1. マスターズ振興活動
マスターズスキー技術選手権大会の内容充実と参加者増加の促進。
 - (1) シニアスキーヤーの普及・発展に務める。
 - (2) 北海道マスターズスキー技術選手権大会の企画・運営。
2. ジュニア振興活動。
ジュニアスキー技術選手権決勝大会の内容充実と円滑な運営及び大会の充実。
 - (1) スキー界の次世代を担うジュニア普及振興に努める。
 - (2) 北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会の企画・運営及び各ブロック大会へ

の協力。

3. レディス振興活動

レディスエレガントスキー大会でのパフォーマンス発表の場としての内容充実。

- (1) 女性スキーヤーの活動の普及発展、技術の向上に努める。
- (2) レディスエレガントスキー大会の企画・運営。

＜スキー学校部＞

【基本方針】

2024年度の(公財)北海道スキー連盟教育本部活動方針に基づき、本連盟所属のスキー学校・分校・教室(以下「登録スキー学校」という。)の活動の充実と規約・規程の順守を重点目標とし、主任教師研修会等によりスキー教師の資質の向上を図るとともに、校長会議を通して登録スキー学校の適正運営についての的確な情報提供と指導・助言を行い登録スキー学校の充実を図る。また、SAJ公認スキー学校等設置規程等及びSAHスキー学校登録規程の順守を徹底するとともに、円滑な登録業務を遂行する。同時に、バッジテストに関しては、加盟団体(地区連)・登録スキー学校と連携し、スムーズな協力体制を構築する。北海道スキー学校協会の事業計画にも協力し、緊密な連携を通じて協会活動の支援を図る。

【任務】

1. 登録スキー学校の円滑かつ適正な運営を図るためSAJの諸規約・規程並びにSAHスキー学校登録規程の順守の指導と的確な情報提供を行う。
 - (1) 登録スキー学校の事務処理運営
 - (2) 登録スキー学校に関するSAJへの連絡・報告
2. 登録スキー学校の活性化及び充実を図るための主任教師研修会・教師研修会等の立案とスキー教師の資質と技術の向上を支援する。
 - (1) 登録スキー学校に関わる研修会の企画・立案
3. 加盟団体(地区連)・登録スキー学校とのプライズテスト開催委託に関する業務を行う。
 - (1) スキークラウンプライズ・テストの実施・開催地の調整
・加盟団体(地区連)への委託と事業報告の審査、事業報告書の集約
 - (2) スキーテクニカルプライズ・テストの集約並びに開催登録スキー学校との調整
・登録スキー学校への委託と報告書の審査、事業報告書の集約
 - (3) スキー級別テスト・ジュニアテスト・スノーボード級別テストの実施、運営指導
・開催届、報告書の審査、事業報告書の集約
4. 北海道スキー学校協会の事業への協力と連携を推進する。
5. スノースポーツ愛好者の増加を図るための関連事業へ積極的に参加する。

＜スノーボード部＞

【基本方針】

教育本部活動方針を基本に事業運営にあたり、教育本部規程及び内規に規定されているスノーボードに関する事項について所管し、各事業の円滑な運営に努める。子供から高齢者まで楽しめるスノースポーツとなるよう多様な活動の推進に努める。

業務の効率化を計る為、デジタル化への取り組み(シクミネット等を活用した登録等)を引続き実施する。

【任務】

1. 総務

- (1) スノーボード部の企画運営に関する事。
- (2) 地域におけるスノーボードの普及・振興に関する事。
- (3) その他、スノーボード部の庶務事項に関する事。

2. 研修

- (1) スノーボード指導者研修会の企画・運営に関する事。
- (2) 公認スノーボードクリニックの企画・運営に関する事。

3. 検定

- (1) 認定スノーボード指導員検定会の運営に関する事。
- (2) 認定スノーボード指導員養成講習会に関する事。
- (3) スノーボード準指導員検定会の運営に関する事。
- (4) スノーボード準指導員養成講習会に関する事。
- (5) スノーボード指導員養成講習会に関する事。
- (6) スノーボード検定員検定会の運営に関する事。

4. 強化

- (1) スノーボード技術選手権大会に関する事。
- (2) スノーボード技術選手権大会出場選手の強化に関する事。
- (3) 強化指定選手の育成・強化に関する事。
- (4) ジュニア層を含めた若手選手の育成及びジュニア大会の活性化に繋がる PR に関する事。

＜安全対策部＞

【基本方針】

雪上での安全を確保することは、楽しいスノースポーツを普及発展するためにもっとも

大切なことである。

北海道スキー連盟に所属する公認スキーパトロールとして、スキー場を利用するすべての方から信頼される存在となるために、必要な知識と技術の習得に努め、スキーパトロールの強い連帯感・リーダーシップ・責任感をもって任務を遂行する。

とくに、研修会については、公認スキーパトロール研修会規程の改正により加盟団体主管で実施可能になったことから、道内各地域の特性と要望を踏まえて開催会場や研修内容を検討し、受講者がさらに参加しやすい運営に努めていく。

【任務】

1. 公認スキーパトロール養成講習会Ⅰ・Ⅱの実施
 - (1) 養成講習会(Ⅰ)は、基礎知識の理解と基本技術の習得を図る。
 - (2) 養成講習会(Ⅱ)は、検定種目の理解と技術の確実な習得を図る。
2. 公認スキーパトロール研修会の実施
 - (1) 公認スキーパトロール研修会規程に基づき、開催運営を行なう。
3. 公認スキーパトロール検定会の実施
 - (1) 公認スキーパトロール検定会規程に基づき、開催運営を行なう。
4. スキー・スノーボード傷害調査
 - (1) 北海道内スキー場での事故状況を調査・集計し、安全対策の資料とする。
 - (2) 上記資料を道内スキー場に配布し、安全なスノースポーツに役立てる。
5. 公認功労パトロールの資格審査
6. 各種大会支援